

2025年7月10日

報道関係者各位

アストラゼネカ株式会社
アッヴィ合同会社
アレクシオンファーマ合同会社
サノフィ株式会社**第7回 LGBTQ+講座開催****Pharma for PRIDE: アストラゼネカ、アッヴィ、アレクシオンファーマ、サノフィ
営業担当者の視点で考える LGBTQ+当事者の職場課題
—誰もが心地よい環境を目指して—**

4つの製薬会社からなるLGBTQ+の啓発アライアンス“Pharma for PRIDE”は6月26日、社員を対象に、LGBTQ+講座を開催しました。Pharma for PRIDEに参画している製薬会社4社は、アストラゼネカ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:堀井貴史)、アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ティアゴ・カンポス ロドリゲス)、アレクシオンファーマ合同会社(本社:東京都港区、社長:濱村美砂子)、サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋孝彦)です。

今回は、株式会社アカルク 代表取締役 堀川歩氏が講演を行い、3人の営業担当者がパネリストとして、職場における課題などについて意見交換をしました。LGBTQ+を取り巻く社会状況や医療現場で起きている変化を認識し、相手と適切なコミュニケーションを取るために必要な知識を学びました。また、各社での取り組みも紹介しながら、誰もが安心して心地よく働ける職場環境について、聴講した社員とともに考えました。

職場で困りやすいこととして、トランスジェンダーの場合、トイレや更衣室など、男女別で分けられている事柄全般に課題があり、同性パートナーがいる場合には、会社の福利厚生の利用時や配偶者の関係性の証明に課題があります。大事なことは、会社は選択肢を提供するけれども、選ぶのは当事者自身だということです。

また、会社としての指針が示されているか、安心して相談できる環境が整っているか、社員同士の会話で不適切な発言が横行していないか、などが安心感に関わってきます。

人口の9.7%¹⁾がLGBTQ+当事者といわれ、職場においても身近な存在です。カミングアウトしている人も、していない人もいて、職場におけるスタンスは人それぞれです。一人ひとりに違いがあるという事実を前提にした、個人を尊重した適切な対応が望まれます。

以下に、職場での会話などで気を付けたいことや適切な対応例について紹介します。

NG 上司や身近な人による無自覚なアウティング*

アウティングは個人の尊厳を傷つける行為であり、許されません。自らの行為でなくてもそのような言動に遭遇した場合は、「ハラスメント」であることを指摘するか、人事部や相談窓口に報告することが適切な対応です。

*性的指向や性自認など個人のプライバシーに関わる情報を同意なく第三者に暴露すること。パワハラ防止法で禁止されている

OK カミングアウトされた場合の適切な対応例

カミングアウトする、しないは本人の自由です。アウティングはしてはいけない行為です。

- 本人から直接の場合: 傾聴、要望があればヒアリング、情報の開示範囲と取り扱いの確認

- 第三者からの場合 : 本人の同意の確認、情報の開示範囲と取り扱いの確認、必要に応じた関連手続き

NG 無自覚な発言例

相手のプライバシーに配慮し、無神経な質問や、下記のような不用意な発言は控えることが大切です。

- 「昔は気にせずに言えたけど今は時代が変わった」
- 「昔よりコミュニケーションがとりづらくなった」
- 「今はもう言えなくなった」
- 「普通は～」
- 「一般の人は～」
- 「私は偏見とかないから全然大丈夫！」

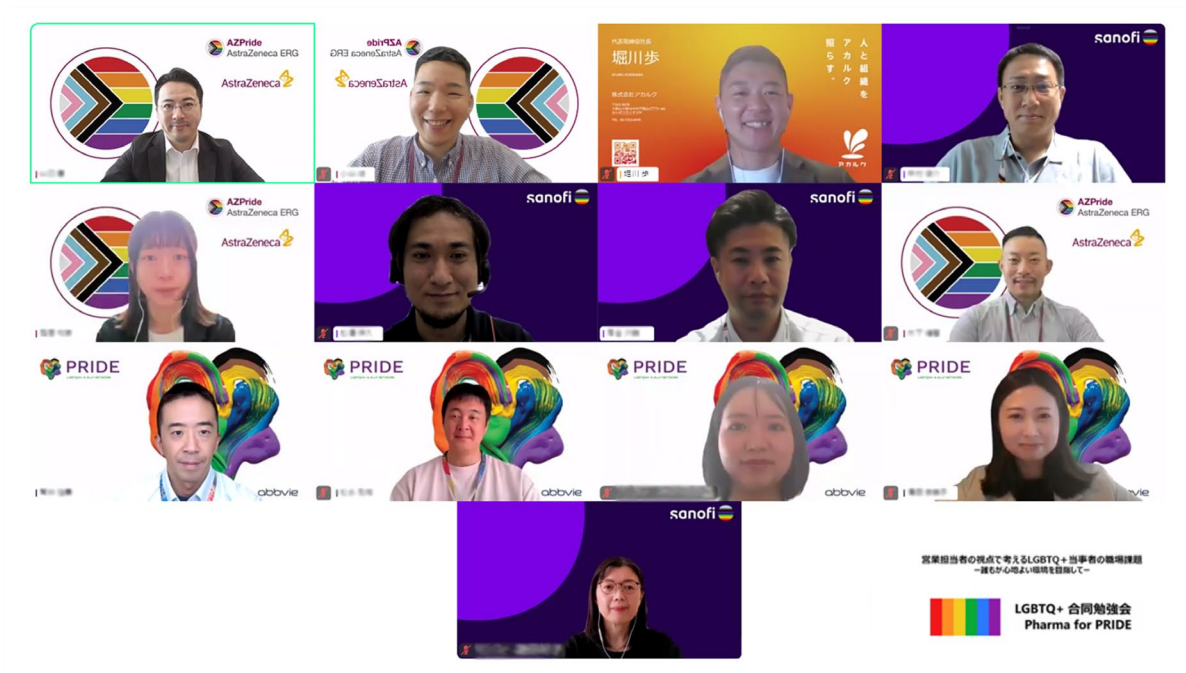
OK 相談された際、無関心や過剰な反応でない、さりげない一言が、相手の安心につながります。

- 「相談してくれてありがとう」
- 「何か困ったことがあったら遠慮なく言ってね」
- 「一緒に考えていこう」
- 「一人で抱え込まなくていいからね」
- 「何か私にできることはある？」
- 「〇〇さん”らしいですね」

OK アライ(ALLY)の存在

アライは一緒にアクションを取る理解者、支援者を示す言葉です。自分が当事者だということをカミングアウトしにくい、できない、という背景がある中で、誰がアライかが見えていて、たくさんいることがわかると、当事者の心理的安全性が高まります。私たちはアライの輪を広げる職場環境づくりをこれからも推進していきます。

* * 企画・運営チームのメンバー * *



1) 出典: 電通ダイバーシティラボ(2023年)「LGBTQ+調査 2023」

Pharma for PRIDE は、各社員が LGBTQ+ に対し正しい知識を持って言動や行動を意識し誰もが安心して働ける心理的安全性の高い職場・業界を実現することを目的に結成されました。2022 年より継続的に年 2 回の勉強会を実施しており、これまでに「LGBTQ+×ヘルスケアの現状と課題」をテーマとして、医療機関内の制度や医療保険制度、医療従事者の理解不足などにより、LGBTQ+ 当事者が医療へのアクセスが困難な現状を学ぶとともに（2023 年 6 月）、医療従事者を対象とした勉強会も開催しました（2023 年 12 月）。さらに、アライネットワークの拡大を目的に、参加者全員で意見交換を行い、理解を深める勉強会も開催しました（2024 年 6 月）。昨年 12 月には、LGBTQ+ と健康格差をテーマに、LGBTQ+ の方々が抱える医療における課題について考え、公平な医療アクセスの実現に向けて理解を深めました。

◆ 演者プロフィール

堀川 歩 (株式会社アカルク 代表取締役社長)

1990 年大阪府生まれ。

身体的な性は女性として生まれるも、2018 年に性別適合手術を受け現在は戸籍上も男性となる。

高校卒業後は陸上自衛隊に入隊し、任期満了後は自分の目で世界の現状を確かめる為に世界一周の旅に出発。

帰国後は LGBTQ+ の方の総合サポート事業を個人で立ち上げる。その後、ユニバーサルデザインのコンサルティング会社で人事部長を務め、株式会社アカルクを設立。

現在は LGBTQ+ をはじめとする多様な人が働きやすい職場環境作りや全国各地で研修や講演を年間 100 本以上行っている。



“Pharma for PRIDE”について

LGBTQ+ をはじめ、誰もが安心して働ける心理的安全性の高い職場・業界を実現するため、より多くの社員への啓発に加え、製薬業界全体での啓発を目指すことを目的に、2022 年に発足した啓発アライアンスです。

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ医薬品企業であり、主にオンコロジー領域、希少疾患領域、循環器・腎・代謝疾患、呼吸器・免疫疾患からなるバイオフーマ領域において、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。英国ケンブリッジを本拠地として、当社の革新的な医薬品は 125 カ国以上で販売されており、世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <https://www.astrazeneca.com> または、ソーシャルメディア [@AstraZeneca](https://www.astrazeneca.com) をフォローしてご覧ください。

日本においては、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝、呼吸器・免疫疾患およびワクチン・免疫療法を重点領域として患者さんの健康と医療の発展への更なる貢献を果たすべく活動しています。アストラゼネカ株式会社については <https://www.astrazeneca.co.jp/> をご覧ください。アストラゼネカの [フェイスブック](#)、[インスタグラム](#)、[YouTube](#) もフォローしてご覧ください。

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製と提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。

アッヴィの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#)、[X \(旧 Twitter\)](#) や [YouTube](#) でも情報を公開しています。

日本においては主に、免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がん、アイケアの領域、さらに美容医療関連のアラガン・エステティックスのポートフォリオで、製品の開発と提供に取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.co.jpをご覧ください。[Facebook](#) や [YouTube](#) でも情報を公開しています。

アレクシオンファーマ合同会社について

アレクシオンファーマ合同会社は、アストラゼネカの希少疾病部門アレクシオン・アストラゼネカ・レアディーズ(本社:米国ボストン)の日本法人として、患者さんの人生を一変させるような治療薬の発見、開発、提供を通じて、希少疾患ならびに深刻な病状の患者さんとそのご家族への貢献に注力しています。30年以上にわたり希少疾患領域の先駆的なリーダーであるアレクシオンは、補体系の複雑な仕組みを活用して革新的な治療薬を創製した最初の企業であり、現在も多くのアンメットニーズを有する疾患領域において、様々なイノベーションのもと多様なパイプラインを構築しています。アストラゼネカの一員として、より多くの世界中の希少疾患をもつ患者さんに治療薬をお届けできるよう、グローバル展開を拡大し続けています。

アレクシオンファーマ合同会社に関する詳細については <https://www.alexionpharma.jp/>を、日本におけるサステナビリティ活動は <https://alexionpharma.jp/sustainability> をご覧ください。YouTube は https://www.youtube.com/@alexionpharma_japan をご覧ください。

サノフィ株式会社について

サノフィは、研究開発型の AI を活用したバイオ医薬品企業であり、人々の暮らしをより良くし、力強い成長をもたらすことに尽力しています。免疫科学領域の深い知見を活かし、世界中の何百万人もの人々の治療と予防を行う医薬品やワクチンを提供し、さらなる貢献のために革新的なパイプラインの構築にも注力しています。「人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する」という使命のもと、医療・環境・社会が抱える課題に真摯に向き合い、社員と国や地域社会にとって前向きな変化を生み出すことを目指しています。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。